

第2回東北関東大震災救援対策本部会議を開きました！

◆メンバーの再確認

斉藤専務理事（対策本部長）、村田院長、浜崎看護部長、花田事務長、岡野事務次長、信野事務次長、清水事務次長、桑原事務次長、岡吉組織部長、内田事務局長

◆現時点でつかめている状況

- ・医療支援は、坂総合病院を拠点におこなわれています。職員自らも被災しながら、ぬれた下着、靴下のままで日夜診療にあたっているそうです。ライフラインは絶たれたままで、ガソリン、重油（非常電源用）、食料などが不足しているようです。以前共立病院におられた、立川相互病院の山田先生も現地で診療にあたっておられるとのこと。
- ・医療福祉生協連と全日本民医連が共同して支援にあたっています。
救援物資については、福島県内は福島医療生協、宮城県内は庄内医療生協が拠点となります。
医療支援については、坂総合病院が拠点になります。
- ・現地への輸送手段ですが、現在東北道は緊急車両しかとおれない状態となっており、警察の許可証が必要です。車を手配して車をもって警察に申請に行く必要があるとのこと。

共立病院：今日一日だけで14万円のカンパが集まりました！

全院所が、急遽カンパ箱をつくり、外来で患者さんにカンパをお願いしました。共立病院では、一日で14万円のカンパが集まり、第1次のカンパとして直ちに指定の口座に入金することになりました。他の院所も一定の額が集まりましたら本部に持ってきてもらってもいいですし、直接指定口座に入金してもらっても構いません。ただ、額だけは把握して本部に集中お願いします。

★職員には、自分の給料の1日分程度を目安にカンパを訴えています。ぜひ、積極的なカンパをお願いします。

支援物資は、本部に集中していただき、置き場所は4号館大集会室とします！

現地では、水、缶詰、毛布、レトルト食品、カップ麺、携帯コンロ、カイロ、新しい防寒着、お米などが欲しいようです。対策本部としては、生協本部財政から一定の予算を計上し支援物資を購入する事になっていますが、職員、組合員さんのなかで、供出できるものがありましたら、本部を通じて4号館に持ち込んでください。

事務職員の方で、救援ボランティアとしてぜひ行きたい！と思われる方がありましたら、本部事務局内田までご連絡ください。